

あなたの能力と力を学校の支援や見守り活動へ

地域の宝を学校、子どもの応援団に!

団 塊世代が大量退職する時代を迎えました。市では、こうした人も含め地域の皆さんがもっている能力や力を、教育活動や子どもの見守り活動に提供してもらおうと、「学校支援ボランティア制度」を創設。この制度の愛称は



墨彩画を教わる子ども



子どもたちに声を掛けながら登校を見守る

「雪舟スクールサポーター」です。学校支援ボランティア制度は、地域の人や保護者があらかじめ活動内容や活動場所などを登録し、学校はその登録リストをもとに直接本人に依頼し、支援活動してもらうものです。登録できる活動内容は、「総合的な学習の時間」の学習活動の補助をはじめ、スポーツ指導、もの作りの指導、農業や自然保護の体験指導、登下校の見守りなど



学校では

三上 啓子 教諭
(総社中央小)

さまざまな分野の人から支援してもらおうことで、教育活動の内容の幅も広がり、子どもたちが異世代の人とふれあう機会も多くなります。また、子どもたちが地域の人を知るチャンスにもなります。インターネットや本からも知識は得られますが、ふれあいながら教えてもらえることで、感動や楽しさを覚えながら学び、人と接する力も身に付きます。学校と地域がいっしょになって子どもたちを育てていければと思います。

現在、「地域の宝(人材)を学校、子どもの応援団に!」を、キャッチフレーズに登録を呼び掛けています。登録した多くの人に、活躍の場を提供し、学校と地域が協働で子どもたちの教育に取り組んでいこうとしています。子どもたちにとっては、地域の人を知ることがあり、地域の一員であることを自覚することにつながります。

学校支援ボランティア制度ができました
愛称は「雪舟スクールサポーター」です
地域と学校が協働で
教育活動の支援をします

あなたの登録を待っています

雪舟スクールサポーター

☆活動分野

- ①教育活動の支援
各教科や「総合的な学習の時間」などの学習活動や学校生活の補助。学校行事やクラブ活動・部活動等の支援
- ②環境の整備の支援
花壇の整備、植木のせん定、簡単な修繕など
- ③学校の安全の支援
校外学習や遠足のときの参加者の安全確保の補助。登下校の付き添いなど

☆活動範囲

市内の幼稚園、小学校、中学校が対象で、活動範囲の指定もできる

☆登録資格

市内に在住・在勤・在学の人

☆登録するには

所定の登録申込書に必要事項を記入して、最寄りの幼稚園、小学校、中学校か、生涯学習課へ提出

☆登録期間・その他

- ・登録期間は登録した日からその年度の末日まで。1年ごとに更新が必要
- ・ボランティア活動保険に加入(保険料は、市教育委員会で負担)

☆申込先・問い合わせ

生涯学習課社会教育係 (☎ 8362)

4 県立大の人材育成

岡山県立大学は今年4月、地方独立行政法人制度を導入しました。また、子育て支援コースが新設され、その研究や人材の育成に大きな期待が寄せられています。

地域が学習の舞台 子育て支援の人材を育成

岡山県立大学(窪木)は今年4月、「公立大学法人 岡山県立大学」に新しく生まれ変わりました。「この制度の導入によって、自主性や自律性が高まり、将来にわたって皆さんの期待に応えられる魅力ある大学づくりを進めることができ」と大学は言います。

また、今年度から、保健福祉学部にて子育て支援コース(保育士養成課程)が新たに設置されました。子育て支援コースでは、社会福祉士と保育士の2つの資格をもつ人材の育成が行われます。

地域で子どもを育てることが求められている今、子育て支援についての研究が進み、人材が養成されることに期待が高まります。「地域の皆さんと協力して取り組み」ことで、現実を踏まえた研究が進み、よりよい成果が得られると思えます。地域が学習の舞台となり、学生も

教員も地域のなかで育つていくことが望ましいことだと大学も考えています。

これまでも、学生のボランティア活動や、講義の一環として子どもを対象にしたイベントでの協力。子育てのアドバイスをする講演を行うなど数多くの実績があります。

総社市民にとって岡山県立大学は、身近な場所であり、より専門的な知識やノウハウを供給してもらえる源として、かけがえのない存在です。三宮信夫学長も「時代の変化に対する適応能力を備えた教育や研究の場を提供します。で、皆さんも本学を活用してください」と、呼び掛けています。



今年4月に公立大学法人となり、地域への貢献を強く意識する岡山県立大学

地域で子どもを育てる

まとめ

子どもがあつこの地域

地域と子どもの交流

子どもたちが

地域の人を知り

地域の一員になる